



公明党
三上 裕久

地方創生総合戦略の確実な推進について

質問 総合戦略5か年計画の3年目を迎えるが、これまでの進捗状況について市長の見解を伺う。

答弁 重点事業を中心に一定の成果があり、就業移住では、都市部へのPR効果がありました。また、このことで近隣市町との広域連携の基盤が出来たと思っています。

質問 市民が「自信と誇りを持つまち」をつくるとしているが、どのような取り組みで実現されようとしているのか伺う。

答弁 市職員みずからが、本市のよさを感じ誇りを持つことで、広く知ってもらうことが肝要で、そのよさを市民の皆さんと共有し、ともに行動することが、自信と誇りにつながると思っています。

質問 (仮称)女性活躍推進センターについて、既存施設の活用を考えているのか伺う。

答弁 今ある保健センターにする

か新設するかは、調査内容を踏まえ、今後、検討していきます。

質問 地域の課題を地域住民の連帯でみずから解決するという小規模多機能自治の考えを総合戦略に盛り込み、市民が生きがいをもつて、まちづくりを進めることができる体制を構築することへの市長の見解を伺う。

答弁 これは重要な視点であり、課題解決型住民自治の全時的な広がりに向け検討していきます。

質問 本市と近隣自治体にまたがる広域の観光をマネジメントする地域連携DMOは、各市町の利害にとらわれず、中空知に観光客を取り込むことが重要である。中立性・公平性を確保しながらどのように進めていくのか伺う。

答弁 滞在型観光スタイルを進めていきますが、中立性・公平性についても勉強していきます。

産業の振興と活性化について

質問 付加価値の高い農産物の産地形成を進めるにあたり、どのような農産物を考えているのか伺う。

答弁 生薬や化粧品原料の栽培など市場から求められる野菜づくり

を支援していきます。

質問 農業者の高齢化が進み、農業の省力化を図るための環境づくりを早急に進めなければならない。IT技術を活用するスマート農業について見解を伺う。

答弁 ICTを活用した農業生産技術の導入を視野に、農業者が適切な時期に必要な技術を導入できるように、関係機関や農業士会と導入促進策を検討していきます。

質問 現在、株式会社アニム滝川が進める栄町3-3地区の再開発事業で、かつてのにぎわいを取り戻すことができるのか伺う。

答弁 この事業をきっかけに新たな民間事業者による開発が誘引され、空き店舗の活用につながることで商店街の活性化を期待していきます。

質問 滝川版マルシェを設置するための調査・検討をしているようだが、どのくらいの規模を想定しているのか伺う。

答弁 栄町3-3地区再開発による公開空地について、にぎわいにつながるよう所有者などと協議をし、商工会議所や商店街の皆さんとも連携して検討していきます。

質問 道営住宅に続き市営住宅の管理を民間事業者に委ねることになっているが、これが地域経済への効果および市民サービスの向上にどのようなつながると考えているのか伺う。また、住民からの要望・苦情の窓口は、どこが対応するのか伺う。

答弁 民間事業者を指定管理者とすることで、雇用の創出が図られ、新たな事業展開により地域経済への波及効果につながると考えています。また、要望・苦情の窓口は、指定管理者が対応しますが、指定管理者による解決が難しい案件、環境や施設の改善などは、市と協議して対応します。

いじめ実態調査について

質問 いじめ実態調査アンケートの結果を児童生徒や保護者に公表し、検証してもらうことが重要だと考える。どのようにしているのか伺う。

答弁 アンケートは年2回実施し、児童生徒一人ひとりの回答を確認し、状況や傾向を分析します。その結果は、学校だよりなどで児童生徒や保護者に公表しています。